

リンパ系フィラリア症 その②

▶ リンパ系フィラリア症の症状

リンパ系フィラリア症(Lymphatic Filariasis、以下フィラリア症)は、リンパ浮腫、象皮病、陰嚢水腫などを引き起こす病気です。症状は感染者の四肢、外部生殖器を醜くするため、社会問題(村八分や離婚等)を引き起こす原因にもなっています。



陰嚢水腫



象皮病



象皮病

▶ フィラリア症の世界分布

現在73ヵ国14億人以上の人に感染するリスクがあります。感染者の約65%がアジア地域に住み、30%がアフリカ地域、残りは他の熱帯・亜熱帯地域に住んでいます。その中でリンパ系フィラリア症は、2500万人に生殖器疾患(陰嚢水腫)を起こし、1500万人以上にリンパ浮腫(象皮病)を起こしています。罹患率と感染の度合いは貧困と関連し、この疾患の排除は国連ミレニアム開発目標の達成に寄与します。

Distribution and status of mass drug administration for lymphatic filariasis worldwide, 2011

